

団体紹介

- ・昭和11年(1936年)に設立された、県内で最も歴史の古い植物調査研究団体。
- ・山形県のフロラ(どんな種類の植物があるのか)解明のため、県内各地で調査を実施。
- ・これまで、山形県の植物誌(1972、1992)や新山形県野生植物目録(2019)等の県内の植物に関する文献を発刊。県レッドデータブック(植物版)発刊へも貢献。
- ・令和2年度から、やまがた緑環境税を活用した下記人材育成イベントを3年計画で実施。

活動内容

山形県の多様な生き物保全プロジェクト!!

～あなたも植物分類のスペシャリストになろう(中級編)～

初級編

開催日:令和3年5月30日(日) 9:30～16:00

場 所:山形市少年自然の家(山形市)

参加者:27名

内 容:講義 「山形県に生育する植物の現状とその保全の課題」
実習 里山の代表的な植物を見分ける



里山植物の分類実習

中級編

1回目

開催日:令和3年7月11日(日) 9:00～16:00

場 所:陣峰市民の森(新庄市)
新庄市民プラザ

参加者:21名

内 容:講義 「植物の生きた証を記録する
～標本を作る意義とその作り方」
実習 図鑑の上手な使い方と標本作成

※悪天候のため、スタッフが陣峰で
採集した植物を使った室内実習と講
義のみに変更、野外実習は中止



湿原周辺での分類実習



植物標本の作製実習

2回目

開催日:令和3年10月10日(日)

午前の部 9:00～12:00 午後の部 13:00～16:00

場 所:下小松古墳群(川西町)

参加者:午前の部10名、午後の部8名(午前、午後は別メンバー)

内 容:実習 里山の湿原とその周辺の植物を見分ける



植物に関する講義

※ 2回の講義は、前山形県レッドリスト等掲載種選定委員会(植物版)委員長の
山形大学理学部 教授 横山潤 氏にお願いしています。

活動を行っての感想

- ・植物の分類に興味のある人は予想以上に多いが、年齢層が非常に高く、若手人材の発掘・育成はなかなか難しい。
- ・アンケートの結果、参加者の向上心は高いまま維持されており、来年度の上級者向け研修に参加を希望する人が参加者の80%を超えていることから、来年度上級研修を実施することで、植物分類のスペシャリスト候補の育成が期待できる。